

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年10月28日(金) NO20 文責 <sup>きした</sup>木下 <sup>ふみあき</sup>文秋

## 「ステキ」な言葉と「みにくい」言葉

この学校でとてもステキだと思う言葉があります。それは職員室に入室する時に「職員室の先生方こんにちは。〇年〇組の〇〇です」という生徒の言葉です。クラスと名前を名乗ることは一般的にどの学校でも聞き慣れています。「職員室の先生方 こんにちは」はとても美しい言葉です。これが習慣となって、例えば高校に入学しても、つい高校の職員室で「職員室の先生方 こんにちは」と言葉にしたら、恐らく職員室の先生方は全員振り返ると思います。それくらいステキな言葉です。逆にみにくい言葉もあります。それは「キモイ」「ウザイ」「むかつく」「消えろ」「死ね」という言葉です。この言葉を三股中から排除しようと4月の始業式で生徒に話をしましたが、生徒の皆さんは覚えているでしょうか。このみにくい言葉は全てを否定する超マイナスの言葉です。しかし残念ながら、うちの学校でもこれらの言葉で苦しんでいる人がいるという報告を受けることがあります。少し前の話になりますが、プロレスラーの木村花さんという人がある番組に出演していて、その中での彼女の言動に対し「消えろ」という言葉をはじめ、文字に起こしたくないような悲しいコメントが毎日100件以上寄せられ、それを苦にして自らの命を絶つという悲劇がありました。彼女は「匿名」という「わがまま」を盾にした身勝手な人間に尊い命を奪われたわけです。人にはぬくもりを感じる優しい言葉があります。それで救われる人はたくさんいます。しかし、残念なことにSNSやツイッターなどでありもしないことをつぶやく人も増えています。こんなことを書き込んで本当にいいのかと真面目に考える人もいれば、「どうせばれない」という盾を持つ人もいます。苦しい時や辛い時に人を地の底から拾い上げて救ってくれるのは人です。その言葉で救われる人はたくさんいます。しかし、残念なことに人をダメにしてしまうのも人の言葉です。私たちは、自分の言葉に責任を持たなければなりません。世の中にはステキな言葉とみにくい言葉があります。どの言葉が「ステキ」なのか「みにくい」のかは考えればわかります。それは皆さんのハート次第です。超マイナスの言葉は私たちには不要です。ちなみに、「職員室の先生方、こんにちは」という言葉を全校生徒が言っているかというところまではなさそうです。ステキな言葉を使う生徒が、100%に近付くことを期待しています。